

目標設定シート (2011年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	総合支援センター
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

○2011年度からの目標

- 2012年度までにコーディネータ(期限付契約職員)を2人増員する。
- 2012年度までにカウンセラー(嘱託職員)を2人増員する。
- カウンセラー、コーディネータの技能や資質向上のため、学会や学外の研修会に一人年1回以上参加する。
- 学生支援相談室とキャンパス自立支援室で、それぞれ毎月1回『事例検討会』を実施する。
- 総合支援センター全構成員による『総合支援センター連絡会』を年10回以上実施する。

○指標

- コーディネータの計画人員確保の状況
評価基準：A→2人 B→1人 C→評価基準なし D→0人
- カウンセラーの計画人員確保の状況
評価基準：A→2人 B→1人 C→評価基準なし D→0人
- 学会または研修会に年一回以上参加したカウンセラー、コーディネータの人数
評価基準：A→全員 B→8割以上10割未満の人数 C→6割以上8割未満の人数 D→6割未満の人数
※8割、6割などの人数は、総数に8割もしくは6割を掛け、小数点第1位を四捨五入した人数を基準とする。
例えば、総数が11人の場合、11人×0.6=6.6人。6割以上は7人以上、6割未満は7人未満。
- 各室とも『事例検討会』を実施した月数
評価基準：A→10ヶ月以上 B→7～9ヶ月 C→5～6ヶ月 D→4ヶ月以下
- 『総合支援センター連絡会』の開催回数
評価基準：A→10回以上 B→7～9回 C→5～6回 D→4回以下